

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-09	事務事業名 休日診療事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	日曜日・国民の祝日、年末年始の昼間及び準夜間において診療施設を確保し、急病患者に対する診療を実施し、市民の生命と健康を守ることを目的とする。 休日診療所を中町分庁舎と市内医療機関2か所(輪番制)にて実施している。中町分庁舎休日診療所診療時間は、午前10時から午後9時まで。医療機関診療時間は、(病院)午前9時から午後10時まで、(医院)午前9時から午後5時まで。 歯科休日診療は各医療機関にて2か所にて実施。受付時間は午前10時から午後4時まで。 (予算：4.1.3.1休日診療事業費)	
事業開始時期	合併前から 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		78,844	84,858	76,173	75,730
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		18,902	18,902	18,902	18,902
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		59,942	65,956	57,271	56,828
所要人員(B)	人	0.08	0.08	0.08	0.08
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	653	646	646	653
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	79,497	85,504	76,819	76,383
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数(医科))	千円	10	8	9	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 延べ開所日数(医科)	実績値 日	295	295	291	291
② 延べ開所日数(歯科)	実績値 日	72	72	71	71
《指標の説明・数値変化の理由 など》 開所日数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数(医科)	目標値 人				
	実績値 人	8,253	11,351	8,249	
二 受診者数(歯科)	目標値 人				
	実績値 人	540	538	530	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 指標説明：休日診療の受診者数 平成21年度の受診者数の増加は、新型インフルエンザの流行によるもの。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	委託をしている西東京市医師会から小児科など内科以外の診療科目の患者の対応に苦慮しているとの意見があがっている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 医科：固定性10市、輪番制14市、固定・輪番制2市 歯科：固定性13市、輪番制11市、未実施2市
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 平日準夜小児初期救急医療(4市共同事業) 多摩北部医療センター(東村山市)、佐々病院(西東京市)

事業コード 04-01-09	事務事業名 休日診療事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>市民の生命と健康を守るための施策であり、市民にとって重要な役割を果たしている。また、休日や準夜間における初期救急医療は、市民が安心して生活をするために、必要不可欠な施設である。ただし、急患者の応急医療を行うため事業であり、救急医療体制とは異なる。</p> <p>医科は、輪番実施のため診療科目が変わり小児専門医が常備できない課題があり、これを4市共同の小児初期救急医療事業にて補っている。歯科は、近年、準夜間や休日に診療を行う歯科診療所が増加傾向にある。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>合併以来、固定制と輪番制の1市2制度のままの運用が継続されてきている。前回の行政評価結果において、真に求められる診療科目の検討、実施回数、実施場所について指摘がされているが、改善は見られない。特に歯科医については、1日平均利用者数は3人程度となっており、費用対効果を考えると市の休日診療事業として、今後も継続実施していく必要性は低いと言える。利用者の利便性等を考慮しつつ、見直しを図りたい。</p>
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	1	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>休日における市内の初期救急医療体制を確保する本事業は、市民の安全・安心のため必要不可欠であり、今後も医師会・歯科医師会との協力のもと、継続実施していく必要がある。</p> <p>ただし、歯科については、利用状況が低いことや一般の休日開業医も増えつつあることから、都補助基準を上回る現在の体制を維持する必要について疑問視する意見もあることを踏まえ、見直しの是非を検討し、休日開業医数の動向等も見ながら改めて判断することとする。</p> <p>なお、今後は、他の健康関連事業の実施における休日診療所の活用等についても検討し、健康施策全体のより一層効果的かつ効率的な運用に努められたい。</p>